

東奥日報

夕刊

2009(平成21)年
10月29日(木)

〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号

東奥日報社
電話(017)739-1111

©東奥日報社 2009



高値1万6000円に急上昇

八戸・船凍サバ 今期最後の相場

大中小型巻網の改革型漁船「第83惣宝丸」(八戸市、福島漁業所)が漁獲、船上凍結した「船凍サバ」の今漁期最後の水揚げが29日、八戸港第3魚市場であり、高値が10kg当たり1万6000円と、10月1日の今漁期

初水揚げから3000円上回った。昨年、初上場した船凍サバの高値は3800円で、相場は約4倍に急上昇した。1日の水揚げ後、新聞やテレビなどで船凍サバが取り上げられ、同社や漁協などに県外の業者から注文や問い合わせが殺到。12月上場する予定を急ぎ前倒した。この日入札されたのは、10月中旬に八戸沖で漁獲したマサバ約2・4ト。1匹800g、1匹のLサイズが1万6000～1万5000円、500～700gのMサイズは4100～4000円で取引された。福島漁業の福島全良専務は「一般の消費者からも問い合わせがあり、認知度が高まっているのを感じる。大量生産できないが多くの人に味わってほしい」と期待感を示した。八戸前沖のサバ漁は終盤に入っているが、ゴマサバが多く、型も小さめになっているといい、船凍サバの製造は今漁期は終了する。